

臭気判定士会 平成 30 年度 第2回意見交換会開催報告

2019年3月16日(土)新コスモス電機(株)研修室(浜松町)にて開催された。参加者数は25名(非会員1名) テーマは「判例から考えるにおい問題について」であった。におい関連の判例集を参考として用い、におい問題に対していろいろな視点から検討を加えてみようというのが開催趣旨であった。我々臭気判定士は、におい苦情問題解決のための手法として、技術的なアプローチに偏りがちである。裁判における審理の経緯を見ると、当然のことではあるが、より幅広くとらえて検討・判断されていることが読み取れる。におい苦情相談への対応時には、このような視点からの判断も加えながら、依頼者へ対応できればより適切な助言ができるであろう。

参考にした事例は次の通りである。「区分所有者から賃借した者が居酒屋を経営、住人とおいトラブル発生、施工上の問題も絡んだ事例」「し尿処理場建設差し止めに関する事例、環境保全に関する人格権にも係わる」「焼き肉店の排気のおい問題、受忍限度の範囲が争点」「ゴミ集積場設置に関する事例、輪番制・公平性・受忍限度に注目」「廃棄物処理施設設置許可を受け建設後、改善命令・許可取り消し処分を受けた事例」

また、これらとは別に、弁護士の会員より、今回使用した判例集には掲載されていない特殊な類型の事例について紹介があるとともに、臭気判定士が訴訟に関与する場合に留意すべき点に関して具体的な説明がなされた。

情報公開などからむ諸般の事情から、詳細についてはホームページに掲載いたしません。特にご要望がございましたら、臭気判定士会事務局(伊藤 090-1661-9074

moani-ito@jcom.home.ne.jp)にご忌憚なく連絡ください。可能な範囲で、会員の皆様のお役に立てるよう、ご協力いたします。(横浜市 伊藤)



会場風景